

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	04-01-01-12
事務事業名	山村地域等振興事業		
	平成10年度	根拠法令・要綱等	
事業開始年度	平成10年度		
大項目 基本目標	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	問合せ先	吉永総合支所管理課
中項目 基本施策	豊かな食を支えるまちづくり	職・氏名	主査 久保山仁也
小項目 施策	農業（農業振興地域以外の整備）	電話	(0869)84-2513

事業の実施	
対象 (誰・何に対して)	山村振興地域(神根、三国地域)
目的 (何のために)	農山村地域活性化のため
行政活動 (どのような方法で)	地域の特性を活かしたイベントを開催する実行委員会に対し援助する
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	農林産物の展示販売を通じ地域PR及び県内外からの来訪者との交流深める

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	八塔寺ふるさと村交流まつり開催数	回	1	1	1
	直接事業費	千円	773	400	4,980
	人件費		2,190	2,618	899
	事業費計		2,963	3,018	5,879
	国県支出金				2,489
	受益者負担				
	市一般財源	千円	2,963	3,018	3,390
	必要人員	人	0.25	0.28	0.12
	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
結果指標	集客数	説明	2,000	1,800	2,300
	結果指標量	人	-	90.0%	127.8%
	対前年比	%	2,963,000	3,018,000	5,879,000
	活動コスト	円	1,481	1,677	2,556
単位当たりコスト	円				
結果指標	結果指標量	説明			
	対前年比	%			
	活動コスト	円			
	単位当たりコスト	円			

事業の成果			
成果指標名	対前年集客数	式又は説明	集客数
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	2,000	1,800	2,300
対前年比		90.00%	127.78%
到達目標値	1割増	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)			
目的	<input type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A-E>	B		
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	課題認識			
対象	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	県内外からの来客は、去年比で増加した。地域活性化のためにも継続したほうが良いと思われる。しかし、毎年予算が減少してきているため、現状維持が難しい状況である。			
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している				
行政活動	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある				
	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない				
事業の意図する成果	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない				
	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である				
市の関与	<input type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である				
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい				
コスト	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である			効率性評価<A-E>	C
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい			課題認識	
効率性の評価	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	今年より、交流まつり実行委員会による企画運営をお願いしている。しかし、事務の効率は思ったほど向上していない。なお、H19年度は地域活性化対策事業として、県の補助を受け、ふるさと村の茅の置き替え等の工事とイベントを合わせ実施したため、事業費が増加している。			
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難				
手	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある				
	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない				
職	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善している				
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある				
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている			有効性評価<A-E>	B
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている			課題認識	
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい			地域活性化のために必要であり、有効な手段である。	
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである				
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上の見込みである				
	<input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある				
有効性の評価	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している	地域活性化のために必要であり、有効な手段である。			
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している				
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している				
	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている				

平成20年度の状況		説明	市主催行事から、実行委員会により企画・運営を行っているが、事務の効率は向上していない。委員に協力してもらいながら、効率化を目指す。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量 2,600	結果指標量	2,600
成果指標量		結果指標量	2,600

総合評価		評価区分 <A-E>	B
地域活性化のために必要な行事であり、引続き交流まつりを開催するが、予算削減により現状維持が難しい。			

平成21年度以降の方向性		□ 平成20年度で廃止・完了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する	
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する	
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	交流まつり実行委員会によるイベントの開催	平成20年度	事務の効率化